2019年1月1日発行（第18巻5号）　隔月発行

評価機構

2019 1 月号

NEWS LETTER

特 集

教育研修事業と認定病院患者安全推進事業での新たな取り組み

人の安心、医療の安全 JQ
公益財団法人　日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

平成31年　年頭のご挨拶

公益財団法人　日本医療機能評価機構
代表理事　理事長　河北　博文

明けましておめでとうございます。平素より評価機構の事業に多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年は「平成」の元号が改まる、まさしく新しい時代を迎えるに相応しい、期待に満ちた新年であると思います。評価機構は設立から24年目に入りますが、皆様の多大なご協力を賜り事業を円滑に運営してまいることができました。改めて厚く御礼申し上げます。今後とも、評価機構の事業が日本の医療の質と安全の向上にしっかり貢献できているかを常に自身に問いながら、新しい時代に適合した事業を運営していくことが大切であると考えております。

病院機能評価事業では、昨年４月から評価項目（3rdG Ver2.0）による審査を開始したほか、特定機能病院等を対象とした「一般病院３」という、病院のガバナンスの評価に重きをおいた機能種別を新設し運用を始めました。引き続き、多くの病院が病院機能評価を活用して医療の質と安全の向上に取り組んでいただきたいと切に願っております。また、医療の質と安全の向上を推進する方々への支援を大きな柱のひとつとして据え、病院内で組織横断的に改善の役割を担う人材の養成を目的とした医療クォリティ マネジャー養成研修をはじめ、様々な研修を実施しているところです。今後は、ITやAIの技術等を活用した教育支援にも一層積極的に取り組んでいきたいと考えております。

病院機能評価事業を始め、EBM医療情報事業、認定病院患者安全推進事業、医療事故情報収集等事業、薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業、産科医療補償制度運営事業、教育研修事業など、評価機構の事業は、すべて我が国の医療の質と安全の向上という大きな目標を目指したものであり、常に社会の動きを視野に入れながら、使命感を持って事業を運営してまいる所存です。本年も引き続きご支援、ご高配を賜りたく何とぞ宜しくお願い申し上げます。

皆様のご健勝とご清栄を心より祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

特 集

教育研修事業と認定病院患者安全推進事業での新たな取り組み

常務理事
橋本　廸生

1. 教育研修事業

教育研修事業では、医療機関における継続的な質改善活動の実践や、安全体制の構築に必要な知識やスキルを身に付けていただくための「個への教育」を目的として、院内の継続的な質改善活動を推進役となる「医療クオリティ マネジャー（QM）」と、患者・家族と医療者との橋渡し役である「医療対話推進者（CM）」、医療安全に関してよりレベルの高い知識と実践力を備えた「医療安全マスター」の養成を行っております。さらに、医療機関の人材育成をより多面的に支援するため、副院長や看護部長など幹部層を対象とした病院管理者向けの研修の開発も行っています。

また、2017年度から厚生労働省の委託を受け、「特定機能病院管理者研修」を行っています。

各セミナー修了者のための継続的な学習支援（継続研修）

医療クオリティ マネジャー養成セミナーや医療対話推進者養成セミナーを修了された方への継続的な学習支援として、より幅広い知識や視野を持っていただくために、医療の質改善活動や医療安全管理に関する話題をテーマとしたセミナーを開催しています。これまで下表のようなテーマで開催し、修了者のみならず医療機関に勤める多数の方にご参加いただきました。今後も質・安全について医療政策の状況に合わせたテーマを取り上げ、セミナーを開催してまいります。

《今まで取り上げた主なテーマ》
・5S活動から考える医療の質改善活動（QM）
・DPCデータマネジメント（QM）
・患者相談における倫理的側面からの対応（CM）
・対話を通じた人間関係調整の実践（QM/CM）
・病院の財務諸表と病院管理（QM）

各養成事業における認定・更新制度の運用開始

評価機構では、医療対話推進者の修了者に対する継続的な学習の場の提供が重要と考え、2015（平成27）年10月より認定・更新制度の運用を開始しております。制度開始から今まで（2017（平成29）年度まで）に1,678名の方を認定し、今年度、初めての更新を迎えます。

また、2012（平成24）年度より開始した医療クオリティ マネジャー養成セミナーを修了された方の認定・更新制度についても、2019（平成31）年度より運用開始を予定しています。

今後は、養成セミナーの継続的実施のみならず、認定者に対して、継続研修やeラーニングなど継続的な自己研鑽の場を提供し、認定者が院内で活躍するための支援を充実させてまいります。

特定機能病院管理者研修の実施

特定機能病院の承認要件として、医療に係る安全管理のため特定機能病院の管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者および医療機器安全管理責任者は、定期的に医療に係る安全管理のための研修を受けることとなっております。評価機構では、これまでに病院機能評価事業を通じて蓄積した経験や人脈、職種を超えた数々の研修を運営する中で培った教育ノウハウを活かし、特定機能病院の医療安全確保を支援すべく、2017（平成29）年度より厚生労働省の委託を受け特定機能病院管理者研修事業を実施しています。

研修では、病院運営に必要となる組織マネジメントや医療の質や安全管理に関する理論や知識を学んだあと、グループワークやケースメソッドといった受講者同士の対話を通じて学びを深めていただけるプログラムで、理論と実践をつなぐ機会を提供しております。

今後は、本事業で得た知見を参考に新たな教育プログラムの開発・企画を進めて、より多くの医療者に還元できる学びの機会を提供してまいります。

2. 認定病院患者安全推進事業（PSP）

認定病院患者安全推進事業では、2001（平成13）年4月に病院機能評価の認定を取得した病院の有志が主体となって患者安全の推進を目的に「認定病院患者安全推進協議会（PSP）」が組織化されました。これまで患者安全に関する緊急性の高い課題に応じた部会等を設置し種々の検討を行うとともに、セミナーの開催や提言の発信、教育ツールの作成、患者安全推進ジャーナルの発行などを通じて、全国の病院における患者安全の推進に寄与してきました。現在は、「薬剤安全部会」「検査・処置・手術安全部会」「施設・環境・設備安全部会」「教育プログラム部会」「ジャーナル企画部会」の5部会を設置して活動を行っています。

おひとりさま（ワンオペ）医療安全 応援プロジェクト（教育プログラム部会）

教育プログラム部会では、2017（平成29）年度に院内で医療安全管理を実質一人で担っておられる方の業務や働き方を考えるため、「おひとりさま（ワンオペ）医療安全 応援プロジェクト」を立ち上げました。このプロジェクトでは、日頃抱えている悩みや課題を共有・整理し、改善方法などについて参加者皆で考えるワークショップを開催しています。これまでに、東京、福岡、石川の各地域で開催し、参加者からは、「同じような悩みを共有しひとりではないと感じた」「やってきたことの自信がもてた」「医療安全管理者の役割が整理できた」「周囲を巻き込む方法を知り、おひとりさまではなくなることがわかった」などの感想をいただきました。

現在、受講者が参加できるメーリングリストを設置し、他の医療機関の医療安全管理者の方と意見交換、情報交換する場を提供しています。

施設環境から考える安全対策事例検索サイト（施設・環境・設備安全部会）

施設・環境・設備安全部会では、院内における医療スタッフの作業環境や設備環境の視点から医療安全について検討しています。各病院より寄せられた物的環境に関する課題や安全対策を広く共有することを目的に、昨年、「施設環境から考える安全対策事例検索サイト」を構築し、会員病院から収集した物的環境に関するアクシデント・インシデント事例を公開しています。院内において安全対策を検討される際に是非お役立てください。

また、収集した事例を元にワークショップやシンポジウムを開催し、フロア全体で情報共有を行っています。ご興味がある方は是非ご参加ください。

転倒・転落予防に関する標語（検査・処置・手術安全部会）

検査・処置・手術安全部会では、2015（平成27）年度から転倒・転落予防について、入院中の生活環境や薬剤による影響等多角的な視点から勉強会を開催してきました。この勉強会を通して学びとなった要点を標語にまとめました。多くの病院の転倒・転落予防に役立てていただけたらと願っております。

なお、当部会では、転倒・転落予防について、継続的に意識づけていただくように、会員病院から「転倒・転落予防の標語」を募集しています。ご応募いただいた標語を部会員で審査し、優秀作品は当協議会ホームページ等にて公開させていただきます。

教育研修事業の研修の詳細、参加申し込みについて　https://www.jq-hyouka.jcqhc.or.jp/#education
認定病院患者安全推進協議会の活動の詳細、参加申し込みについて　https://www.psp-jq.jcqhc.or.jp/

Topics

患者満足度・職員やりがい度活用支援セミナー Web配信のご案内
（評価事業推進部）

「次世代医療機能評価のビジョン」に基づき、患者満足度・職員やりがい度調査（以下、調査）を活用した改善活動を支援するプログラムを提供しております。

このたび、2019年1月31日（木）に開催する「患者満足度・職員やりがい度活用支援セミナー」をWeb配信します。当セミナーは、調査の概要説明、および調査結果の活用について先進的に取り組んでいる病院の発表から構成され、質改善に関する情報共有の場とすることを目的としております。

皆様のお申し込みを心よりお待ちしております。

【配信概要】
配信期間：2019年2月15日（金）13：00～2019年3月14日17:00
参加費　：プログラム参加病院　　無料
　　プログラム未参加病院　1病院につき5,000円

なお、本プログラムは通年で参加病院を募集しております。参加病院には、満足度調査の支援システムや、改善に役立つセミナーを提供しております。プログラム詳細およびWeb配信のお申し込みは、ホームページをご覧ください。

https://www.jq-hyouka.jcqhc.or.jp/support/satisfaction/

「患者安全推進全体フォーラム」のご案内
（教育研修事業部）

病院機能評価の認定を取得した病院の有志が主体となり、患者安全の推進を目的として活動している「認定病院患者安全推進協議会」では、毎年3月、一年間の活動を総括する報告とパネルディスカッションからなる「患者安全推進全体フォーラム」を開催しています。

2018年は、日本各地で台風や地震などの自然災害が相次ぎ、医療現場でもその対応に追われました。そこで、今年度のパネルディスカッションは、「減災――患者とスタッフの安全を守る」をテーマにしました。患者と職員の安全を担保しながら医療を行うために各現場では何に取り組んでおくべきか、また、医療安全部門においては、日常的な安全推進活動に「減災」の考え方をどのように取り入れていけばよいのか等について、実践事例も紹介しながら検討を深めていきます。基調講演には、東京都の広域基幹災害拠点病院である東京都立広尾病院の減災対策支援室副室長・中島康氏（医師・博士（工学））をお迎えします。

院内で医療安全に携わる方、施設管理を担当する部門の方、有事の際にリーダーとなる院内各部門の方など、多職種の方々に参考となる内容となっておりますので、ぜひご来場ください。

【開催概要】
日時：2019年3月9日（土）10：30～16：40
会場：東京ビッグサイト　国際会議場
参加費：認定病院患者安全推進協議会会員病院　無料
　　非会員病院　1名につき5000円
定員　：800名
詳細は、ホームページをご覧ください。
https://www.psp-jq.jcqhc.or.jp/

原因分析報告書の作成件数が2,000件を超えました
（産科医療補償制度運営部）

産科医療補償制度では、補償対象と認定した全事例について、脳性麻痺発症の原因を明らかにするために医学的な観点から原因分析を行い、原因分析報告書として取りまとめ、分娩機関および児の保護者に送付しています。

本制度が創設された翌年の2010年に最初の原因分析報告書が作成されて以来、2018年7月までに計2,000件を超える報告書が作成されました。

原因分析報告書は、産科医、助産師、小児科医（新生児科医を含む）、弁護士、有識者等から構成される「原因分析委員会・原因分析委員会部会」において、分娩機関から提出された診療録･助産録、検査データ、診療体制等に関する情報、および保護者からの情報等に基づき医学的な観点で審議され取りまとめられます。

原因分析委員会部会の様子

原因分析を開始してから完成までに概ね1年で作成することとしております。このため、現在は年間約500件の報告書を作成できる体制を整えています。

Mindsガイドラインライブラリ新規掲載
（EBM医療情報部）

EBM普及推進事業（Minds）では、診療ガイドラインや関連情報を紹介する「Mindsガイドラインライブラリ」を運営しています。2018年10月～11月には、5件の診療ガイドライン、9月には1件の一般の方向けガイドライン解説を新規掲載しました。ぜひご活用ください。

Minds ガイドラインライブラリ
（https://minds.jcqhc.or.jp/）

ぜひ「Minds ガイドラインライブラリ」にアクセスしてください

＜医療提供者の方向け診療ガイドライン＞
○慢性血栓塞栓性肺高血圧症（CTEPH）診療ガイドライン
○原発性胆汁性胆管炎（PBC）診療ガイドライン（2017年）
○自己免疫性肝炎（AIH）診療ガイドライン（2016年）
○子宮頸癌治療ガイドライン 2017年版
○口腔顎顔面外傷診療ガイドライン2015年改訂版 第Ⅰ部

＜一般の方向けガイドライン解説＞
○ANCA関連血管炎 診療ガイドライン2017 クイックリファレンス

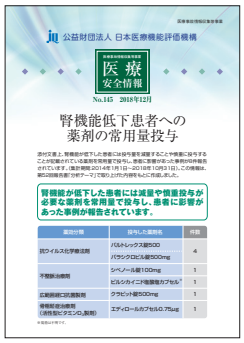
報告書・医療安全情報などの公表
（医療事故防止事業部）

医療事故情報収集等事業では、2018年7月～9月に報告いただいた医療事故情報とヒヤリ・ハット事例を取りまとめた第55回報告書を12月27日に公表しました。本報告書では、以下のテーマを取り上げました。

○小児へ投与する薬剤に関連した事例
○院内で調製している薬品の管理に関連した事例
○検査や治療・処置時の左右の取り違えに関連した事例

また、以下の医療安全情報を提供しました。
○No.144「病理検体の未提出」（11月）
○No.145「腎機能低下患者への薬剤の常用量投与」（12月）
詳細は、ホームページをご覧ください。
http://www.med-safe.jp/

No.144（１ページ目）



No.145（１ページ目）

Information

各イベントの申し込み方法、詳細については評価機構のホームページのイベント情報をご覧ください。開催日の概ね２か月前よりお申し込みの受付を開始します。

https://jcqhc.or.jp/　日本医療機能評価機構▶ホーム▶イベント情報

1月～3月

1月	12日	Mindsフォーラム2019
	16日	2018年度　第3回病院機能評価改善支援セミナー【総合】（大阪開催）
	26・27日	第3回医療クオリティ マネジャー養成セミナー（3・4日目）
	31日	2018年度　第2回患者満足度・職員やりがい度活用支援セミナー
2月	9日	医療対話推進者養成セミナー　導入編 日程3（山口開催）
	9・10日	第2回院内自殺の予防と事後対応のための研修会（山PSP）
	10・11日	医療対話推進者養成セミナー　基礎編 日程G（山口開催）
	16・17日	第5回医療安全マスター養成プログラム day1・day2
3月	9日	（PSP）患者安全推進全体フォーラム（東京ビッグサイト）

詳細は、順次掲載されるホームページをご覧ください。

Mindsフォーラム2019のご案内

［テーマ］「おまかせ」しない医療に向けて：
患者と医療者は何をシェアしていくべきか？

［日　時］2019年１月12日（土）13:00～16:00

［会　場］日本医療機能評価機構９階ホール

［演　者］田代 志門（国立がん研究センター）、
福岡 敏雄（日本医療機能評価機構）、
豊田 郁子（NPO 法人「架け橋」）、
丹野 清美（立教大学）、
名郷 直樹（武蔵国分寺公園クリニック）、
尾藤 誠司（東京医療センター）

（敬称略、登壇順）

本フォーラムの内容は、後日Mindsウェブサイト https://minds.jcqhc.or.jpで動画配信する予定です。

患者安全推進ジャーナルのご案内

評価機構の認定病院患者安全推進協議会が発行している機関誌です。No.54の特集は「患者参加による医療安全の推進」です。

バックナンバーの一部は、認定病院患者安全推進協議会のホームページで公開しています。

●会員病院（1,000円＋税）

会員病院には毎号３冊を無料で送付しています。追加購入をご希望の場合は、認定病院患者安全推進協議会のホームページより会員サイトにログインのうえ、お申し込みください。会員価格となります。

また、会員病院のみを対象としたサービスとして、毎号３冊以上ご希望の場合は、「年間追加購入」をご利用ください。１冊単位でご希望の冊数が、発行のつど、自動的に追加でお手元に届く便利なサービスです。10冊単位の「年間追加購入」のご注文の場合は、最大50％割引となります。

詳細はホームページをご覧ください。

https://www.psp-jq.jcqhc.or.jp/post/journal/1623

●会員外病院（3,000円＋税）

評価機構ホームページ＞出版・ダウンロードからお申し込みください。

編集後記

本年もより役立つ情報の発信に努めてまいります。引き続きのご愛読よろしくお願い申し上げます。

なお、NEWS LETTERは評価機構ウェブサイトにも掲載しています。どなたでも印刷・閲覧できますので、ぜひご利用ください。

評価機構
NEWS LETTER　2019年１月１日発行（奇数月１日発行）
発行：公益財団法人日本医療機能評価機構（略称：評価機構）
発行責任者：河北　博文
〒101-0061　東京都千代田区神田三崎町１丁目４番17号　東洋ビル
TEL：03-5217-2320（代）／（編集：総務部情報企画課）
https://jcqhc.or.jp/　e-mail:info@jcqhc.or.jp
本誌掲載記事の無断転載を禁じます